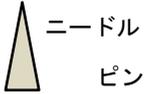


陸上競技場（施設・用器具）使用上の注意（大会以外の場合）

〔豊岡総合スポーツセンター陸上競技場〕 2018. 4. 1～

A 施設

(1) トラック走路

- ① 靴底の汚れや土、小石をよく落としてから使用する。
- ② シューズに使用できるピンは全天候型9mm以下の平行（凸型）ピンとする。（土質用スパイクピンや、先端の尖ったニードルピンの使用は禁止）
- ③ スタートディングブロックは全天候型（底部に15mm×12本のピン付）を使用する。
- ④ 400m以下の周回をしないランニングは1レーンを使用しない。
- ⑤ なるべくメインの100mスタートラインを使用してのスタートダッシュは控えよう。
- ⑥ ハードルの設置は、原則7・8レーンとする。
- ⑦ 目印にはミニコーンなどを使用し、ペンキやインクなどでのマーキングは禁止する。
- ⑧ テープなどを貼り付ける際は粘着力の強いガムテープなどは避け、養生テープなど粘着力の弱いものを使用する。（使用後は速やかに撤去すること）

(2) 跳躍・投てき場

- ① シューズに使用できるスパイクピンは、走幅・三段跳の助走路では9mm以下、走高跳・やり投げの助走路では12mm以下の平行（凸型）ピンとする。
- ② 走幅・三段跳の練習で南向きのピットを使用する際、円盤投・ハンマー投げの練習と重なる場合には、なるべく本部側の助走路を使用し、常に投てき物への注意を怠らない。
- ③ 練習後、使用した砂場は整地をし「砂場防塵カバー」を掛ける。（重石も添えること）
- ④ 走高跳用ピットを使用する際、たまにマットの位置を適当な場所に移動して練習をし、踏切地点がいつも同じにならないよう配慮しよう。また、助走マーク用にテープを使用する場合は、粘着力の弱い養生テープなどを使用する。
- ⑤ 雨天時等に、落下地点が軟弱な状態で、使用後の整備によって元の状態に復元することが不可能と判断される場合は使用を禁止する。

B 用器具

- ① 南側（100mスタート後方）のプレハブ倉庫内にある用器具は、原則使用を認める。（本部ダッグアウト、トイレ横器具庫及び管理棟内にある用器具の使用は禁止）
- ② 走高跳・棒高跳用バーや、走幅跳・三段跳用踏切板は練習用を使用する。
- ③ スタートディングブロック、メジャー及び投てき用具等は個人（学校）のものを使用する。
- ④ 倉庫内に、競技場備え付け以外の個人（学校）の用器具を置かない。
- ⑤ 使用後は、汚れ等を取り除き、必ず元の場所に片付ける。
- ⑥ 用器具を破損・紛失した場合は必ず管理人に連絡する。